

なごみ & こまち便り

今春もお花見シーズン到来!!

4月6日(土)、デイサービス和(なごみ)と放課後等デイサービスこまちでは、合同外出レクリエーションとして滋賀県大津市にある『滋賀県南郷水産センター』へお花見に行つて来ました。入園ゲートを抜けるとさっそく金魚や鯉など琵琶湖ゆかりの魚たちが出迎えてくれ、子どもたちは大喜び。当日は春たけなわの陽気で、自然いっぱいの中で感じる春風はとても爽快でした。このセンターは“魚のテーマパーク”であると同時に春には桜の名所としても有名で、園内にはたくさんの桜の木があり今まさに見頃を迎えようとしていました。大人たちからも子どもたちからも「うわ〜、きれい!」と大きな歓声が上がり、桜の美しさは老若男女関係なく感動をくれるものだと感心するばかりでした。

お昼時となり皆さんお待ちかねのランチタイム。咲き誇る桜を目の前にいただくお弁当の味は格別で皆さんの笑顔もまさに満開です。大人たちは談笑しながら桜の下でまったりと時間を過ごし、子どもたちは舞い散る花びらの中を元気に遊び回る。同じ場においても色々な表情や感性に触れることができるというのがこの合同レクリエーションの醍醐味です。

平成最後の桜見物となりましたが、時代が変わっても花の美しさや鳥のさえずりに季節の移ろいを感じる、そんな日本の美意識を大切にしたいと思うひと時でした。

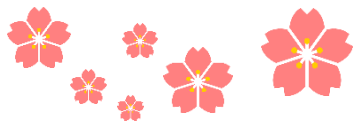


春休みの思い出ができました!!



3月18(土)、こまちではびわ湖を大きな船で周遊する『ミシガンクルーズ』へ行ってきました。以前から船に乗りに行くことをとても楽しみにしていた子どもたちでしたが、当日は明け方からまさかの雨……。でも、そこは日頃の行いの良いこまちっ子たち。大津港に着いた頃には雨も止んで春の晴れ間が見えてきました。目の前にある大きな船に圧倒される子どもたち。「早く乗りたい。」「かつこいい。」「うお〜。」と雄叫びまで上がりました。

船に乗り込むと一番高いデッキまで駆け上がり岸で見送ってくれる人たちに「いってきま〜す!」と大きく手を振ります。出航の合図の大きな汽笛音にびっくりする子もいましたが、湖面をぐんぐんと力強く進むミシガンに



子どもたちは「わぁ〜すごい！」と大興奮の面もちです。1階から4階までを行ったり来たりする子もいれば、甲板の柵にかじりついてパドルが回る様子や巻きあがる波しぶきを興味津々で見つめている子もいました。また、たくさんのカモメやトンビ、サギなどびわ湖に住む鳥たちと間近に出会えたことも子どもたちには驚きだったようです。90分間がとても短く感じるくらい楽しいクルージングでした。またみんなでいこうね。こまちでは、この春から子どもたちもスタッフも新メンバーを迎えました。今年度も子どもたちにたくさんの楽しい体験や学びを提供していければと考えています。

いざ、話題の社会見学スポットへ!!



2月23(土)、早春のなごみ&こまち合同レクリエーションは、朝ドラで今話題の『カップヌードルミュージアム』への社会見学です。さすがの反響で施設内は人、ヒト、ひとです。さあ、大勢の来館者に交じり私たちもmyカップヌードルづくりにチャレンジです。

最初にカウンターでカップを受け取り、作業テーブルに着くと「どんな味にしようかな。」「具材は何を入れようかな。」などと思案しながら味や中身をイメージしたイラストを描いたり、一文字ずつ違う色にして「さすがにこんなカップヌードルは見たことないだろう。」ととてもカラフルな入れ物を作ったりとみなさん思い思いの独創的なカップを作り上げました。

容器が完成したら、次は麺を入れ、定番の3種類の中から味を選び、たくさんある中から好きな具材を4種類選びます。好きな具材だけをたっぷり入れる方、じっくり考え複数の具材を組み合わせるとオリジナルな味を追求する方など人それぞれです。

最後は機械でカップにフタと透明フィルムをつけてもらうと完成です。自分たちがいつも食べているカップヌードルが作られる工程を一通り見学することができ、なごみの皆さんからもこまちの子どもたち

からも「へえ〜、こんな風にして出来ているんだあ！」と驚きや感嘆の声が聞こえます。完成した世界に一つだけのmyカップヌードルが手元に届くと、「できたてほやほや〜。」と皆さんニコニコ顔で受け取っていました。

カップヌードルづくりを終えとてもお腹がすいた一行は帰り道の途中で昼食を摂りにサービスエリアに立ち寄りしました。お察しのとおり、多くの方が選んだメニューはラーメンでした(笑)。



なごみに Pepper 君がやって来た!!



この春、デイサービスなごみに1ヶ月限定でPepper君がやって来ました。最初はどうか接してよいのか分からず戸惑っていたご利用者様たちでしたが、何日か経つと面白がって握手をしたり話しかけたりされる方も出始めました。Pepper君はご利用者様と一緒に童謡を歌ったり体操をしたりとまさに



大活躍の働きぶりで、職員も少しジェラシーを感じる程です。

3月のなごみ喫茶は pepper 君を交えてのホットケーキづくりでした。プレーンと抹茶味の2種類のホットケーキをご利用者様たちはとても上手に焼き上げられ、お客様にも大好評でした。

珍客を迎えての1ヶ月間でしたが、ご利用者様には喜んで頂けたのではないのでしょうか？ Pepper 君、本当にご苦労様でした。



新役員人事と新任スタッフのご紹介



役員就任のごあいさつ



この度、私は執行役員・ホームヘルプ事業部部長を拝命いたしました。私は11年余り前に銭形企画に非常勤職員として入社し、これまでホームヘルパー一筋でこの介護というお仕事に携わって参りました。思い返せば様々な方の人生に触れ、学ぶことばかりの日々であったと感じます。皆様に支えられ、助けて頂いたからこそ今の自分があると本当に感謝に堪えません。

さて、新元号『令和』が始まります。選定理由には「一人ひとりが明日への希望と、それぞれの花を大きく咲かせることのできる日本でありたい。」という願いが込められているそうです。私たち銭形企画も地域に希望を咲かせられる事業者でありたいと願っております。今後も人との出会いを大切に職務に邁進する決意ですので、皆様にはより一層のご指導・お力添えのほど何とぞ宜しくお願い申し上げます。



高橋 弘江 (たかはし ひろえ)

執行役員・ホームヘルプ事業部部長

訪問介護事業・総合事業管理者

平成20年5月入社

資格:介護福祉士 介護支援専門員



新任スタッフのご紹介



深水 陽梨 (ふかみ ひかり)
至らないところが多いと思いますが、よろしくお願ひします(^^)
所属：児童福祉事業部
趣味：フードフェスに行くこと
好きな言葉：一期一会 明日休み



林 果穂 (はやし かほ)
できることを少しずつ増やして、一生懸命頑張ります(^^)
所属：デイサービス事業部
特技：書道
座右の銘：誠より堅き長きものは無い



坂井 希久子 (さかい きくこ)
これまで色々な仕事をしてきましたが人と直接関われるサービス業が大好きです。
所属：ホームヘルプ事業部
趣味：料理 飲み会



小林 優香 (こばやし ゆうか)
人が大好きなので皆さんとたくさんお話がしたいです。よく能天気と言われる私ですが、やる時は全力で励みます。
所属：ホームヘルプ事業部
趣味・特技：創作料理

銭形企画本社新館ついに着工!!

4月1日、漸く『銭形企画本社新館』の建設工事が始まりました。計画当初はゴールデンウィーク頃の竣工を予定していましたが、折しもの資材不足の影響から工期の延長を余儀なくされ、完成は今年9月中旬になる見通しとなりました。ホームヘルプ事業部とケアマネジメント事業部にとっては故郷への帰還が、放課後等デイサービスこまちにとっては新天地への移転が非常に待ち遠しいところですが、当面は昭和情緒あふれる松原商店街での仮住まいを続けることになりそうです。



ぜにがたまつり延期のお知らせ



例年であれば7月上旬に開催する『ぜにがたまつり』ですが、本社新館建設工事の真っ最中の時期に重なり十分な安全対策を講じることが困難であると予想されることから、今年は実施日を延期し、下記の日程で開催させていただくことと致しました。毎年楽しみにしてくださっている方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご了承くださいますとともに、今年の『ぜにがたまつり』にもぜひお越しくださいますようお願い申し上げます。今回もたくさんのお客様のご来場を職員一同心よりお待ちしております。



日時：令和元年9月8日（日） 午前11：00スタート
 場所：銭形企画本社・デイサービス和（なごみ）
 京都市下京区黒門通五条下る柿本町594-33

訪看ステ CoCo は幸先よく利用拡大中!!

本年1月に営業を開始した銭形企画訪問看護ステーション CoCo（ここ）ですが、医療機関や居宅介護支援事業所からのご紹介をいただき、4月1日現在、40歳代から90歳代の計14人のご利用者様の在宅ケアに当たらせていただいております。お引き受けにはまだ余力がございますので、訪問看護を必要とされている方がいらっしゃいましたら何なりとお申し付けください。

医療保険適用	5人
介護保険適用	9人
看取りにより契約終了	1人

（平成31年4月1日現在）

《お問合せ先》
075-585-5551 和田

『銭形通信 Vol.40 春号』

発行元：(株) 銭形企画 〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町594番地33

TEL075-353-4880 (代) FAX075-353-4891 URL: <http://www.zenigata-kikaku.jp>

編集：上原啓輔 田村祐樹 山本和夫 鈴木登紀子